

【一般質問通告書】(令和7年12月定例会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容
1	奥田富美子	<p>1. 白杵港について</p> <p>2. PFAS問題への課題と対応について</p>	<p>本年3月20日に白杵港新フェリーターミナルの竣工式典、オープニングイベントが行われ、5月17日から運行が始まっています。第二埠頭の工事も始まり、利便性の向上、利用者の増加が期待されるところです。</p> <p>(1) 白杵港へのアクセスについて</p> <p>① 白杵港へのアクセスに課題があると考えます。開業に伴い、民間バス路線もダイヤ改正を実施していますが、ふぐバスをコースに含めて利用者の利便性を図ってはいかがでしょうか。</p> <p>(2) にぎわいについて</p> <p>① 白杵港緑地公園の現状の活用状況と、今後イベント開催などの予定はありますか。</p> <p>② フェリーを使って八幡浜行きのツアーが実施され、人気のようです。白杵市を目的地とするツアーの企画の促進に取り組む予定はありますか。</p> <p>PFASとは、炭素とフッ素からなる人工化学物質の総称で、水や油をはじく特性を持ち、1万種類以上が存在するとされています。熱や薬品、紫外線などの刺激を受けても反応せず、安定した性質から、自然環境中で分解せずに留まり続け、人の体内にも蓄積することが問題になっています。</p> <p>(1) 白杵市の現状についてお尋ねします。</p> <p>(2) 小・中学校における児童・生徒の飲み水、給食センターで使用する水の対応はどうしていますか。</p>
2	芝田 英範	<p>1. 定住促進宅地整備事業及び市営原口住宅の建て替えについて</p>	<p>(1) 野津地域定住促進宅地整備事業の進捗状況について</p> <p>① 宅地募集時期と分譲区画数について</p> <p>② 土地貸付及び分譲販売予定価格について</p> <p>③ 若者・子育て世帯の移住・定住支援制度について</p> <p>④ 第2期計画について</p> <p>(2) 市営原口住宅の建て替え計画について</p> <p>① 一人世帯入居者数について</p> <p>② 建て替え計画の今後のスケジュールについて</p>

【一般質問通告書】(令和7年12月定例会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容
3	伊藤 淳	1. 白杵市地域公共交通計画について	<p>令和7年3月定例会にて白杵市地域公共交通計画における取組みの内、新規循環線の導入について、「効率的で持続可能な移動サービスを確保するため、慎重な協議が必要ですが、引き続き検討を続けていく」とのご答弁がありました。また、第3次総合計画の中の「公共交通の利便性の向上」の項において現状と課題が示されていました。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 新規循環線の導入の現時点での検討状況について</p> <p>(2) 総合計画の「現状と課題」の中で、「外出時の移動手段は過度に自家用車に頼っている」と示されたことについて</p>
		2. 白杵市におけるDX推進について	<p>令和7年3月定例会において、過去の答弁において、地域振興協議会の拠点施設など身近な場所でも手続きや相談が可能となるように検討していくと執行部から示されたが、現状はいかがかという質問に対し、うすきラクまどの端末などを希望する地域振興協議会の拠点へ設置することや公用車を使った移動市役所を今後検討するとご答弁されています。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 各種証明書の発行や相談など、市役所に来るのが難しい方・利便性を享受できない方への対応策に関して、現時点での検討状況について</p>
		3. 避難所・避難場所の設備の改善について	<p>令和7年6月定例会において、避難者の心身になるべく負担のかからない、プライバシーに配慮した避難所生活を送れるような避難所設備の改善や津波発生時の避難場所の表示について、質問させていただきました。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 「プライバシー保護の充実を図るために」、「ドームテントの備蓄を進めている」との答弁がありましたが、整備の進捗状況と想定される避難者数に対する充足率について</p> <p>(2) 津波発生時緊急避難ビル表示について「今後確認しながら検討していきたい」とのことでしたが、現時点での検討状況について</p>
4	戸匹 映二	1. 市民のボランティア活動における傷害事故や賠償事故などを補償する保険制度について	<p>(1) 現状での市民のボランティア活動時に加入できる主な保険制度をお伺いします。</p> <p>(2) 全市民を対象に、市が契約者となって保険料を負担し、活動中のさまざまな傷害事故や賠償責任を補償する「市民活動保険制度」を導入し、様々な市民活動を支援する体制を整える必要があると考えますが、市の認識をお伺いいたします。</p>
		2. 市民生活に影響する悪臭の発生対策と規制方法について	<p>(1) 野焼きの煙のにおいによる苦情への対応と解決への取り組み、また課題認識をお伺いします。</p> <p>(2) 工場などの事業活動からの悪臭の発生による苦情への対応と解決への取り組み、また課題認識をお伺いします。</p> <p>(3) 臭気対策については現状の「特定悪臭物質」による規制から、人間の鼻を用いてにおいを定量化し、実際の悪臭影響度に近い評価を行うことができる「臭気指数」による規制に変更が必要と考えますが、市の認識をお伺いします。</p>
		3. 終活支援サービスと終活情報登録制度について	<p>(1) 白杵市社会福祉協議会のみらいサポート事業で令和7年4月から「やすらかサービス」が加わりサービス内容の拡充が行われていますが、その内容と利用状況をお伺いいたします。</p> <p>(2) 市が終活情報の管理・開示を担う「終活情報登録制度」の導入も必要と考えるが、市の認識をお伺いいたします。</p>

【一般質問通告書】(令和7年12月定例会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容
5	匹田久美子	1. 男女共同参画の観点から、若者が暮らしやすいまちづくりについて	(1) 本市の人口推移から見える現状と課題の認識について (2) 働く環境の充実のための取組について ① 非正規雇用で働く若者の支援について ② 育児休業取得の促進について (3) ジェンダーの決めつけや偏りをなくすための取組について ① 固定された性別役割分担意識の現状把握と啓発の取組について ② 自治会や審議会における女性参画について ③ 若者や女性の声を市政に反映させる仕組みの導入について
		2. 女性が問題を抱えやすい課題について	(1) 小中学校における生理(月経)の周知と教育、学校トイレに生理用品を常備する取組について (2) 公共施設のトイレに生理用品を設置することについて (3) 配偶者等からの暴力(DV)防止の取組と被害者の保護について
		3. うすき竹宵の持続と発展について	(1) 現状の取組と評価、課題について (2) 来年節目となる30回目に向けた取組について
6	安東 鉄男	1. ヤングケアラーについて	本年10月に本市独自の調査として記名式のヤングケアラー実態調査が行われた。ヤングケアラー対策は、子育て支援においても重要な課題の一つだと考える。以下の項目について伺う。 (1) 白杵市ではヤングケアラーとはどのような状況と捉えているのか認識を問う。 (2) ヤングケアラー実態調査結果について ① 調査結果の概要 ② 記名式にした理由 (3) ヤングケアラー対策における白杵市の取組について
		2. 市民からの要望事項への対応について	(1) 道路補修に関する要望について 「道路補修事業」は、区長及び市民の方からの要望や、突発的な破損等の通報を受けて、車両や歩行者の安全な通行や道路の排水がスムーズになるよう、安全で快適な生活環境の確保のために、随時対応する大変重要な事業である。以下の項目について伺う。 ① これまでの取り組みについて ア. 主な事業の内容と要望事項 イ. 年度毎の要望件数と実施件数 ウ. 年度毎の予算の推移 ② 今後の取組と課題について (2) 道路補修以外の市民からの要望について 道路補修以外の要望事項に関し、内容や対応状況等を伺う。 ① 要望事項の内容と対応実績について ② 今後の取組と課題について

【一般質問通告書】(令和7年12月定例会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容
7	広田 精治	<p>1. 同和対策事業等について</p> <p>2. 家族介護慰労事業等について</p>	<p>(1) 同和対策分べん助成金交付、同和対策乳幼児栄養食品支給、保育施設入所支度金交付、小中学校入学支度金交付、同和対策進学奨励金交付、同和対策新規学校卒業者就職支度金支給の各事業について、下記を伺う。</p> <p>① 過去の申請件数、及び交付決定件数</p> <p>② これらの事業について総じての事業評価</p> <p>(2) 本市と部落解放同盟との関係性について、以下を伺う。</p> <p>① 同団体主催の研修会等への職員派遣について、令和7年前3年度分の派遣職員数と負担金及び旅費支出</p> <p>② 職員の派遣は、ジェンダー平等の実現などあらゆる差別解消の観点から、また、主催が特定の理論と活動方針をもつ民間団体という点から偏向した対応だと考えるがどうか。</p> <p>③ 報道によれば大分市官製談合報告書は、過去の部落解放同盟関係者による市職員に対する暴力行為を認定し、当該同盟は市職員にとって心理的圧力を及ぼす存在として認識されていたとのことだが、本市においては当該同盟と職員との関係性はどうか。</p> <p>(3) 9月定例会一般質問「1 同和対策事業について」の答弁の中で、「不当な差別がないこと、心の中に思うこと自体が差別である、そういったことの認識を皆さんにお伝えして啓発しているところでございます」との発言があった。 発言は、市民が心の中で考えていることまで啓発で規制しようとするもので「内心の自由」(憲法19条 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない)に反するものだと考えるが、どうか。また、この発言が示す「啓発行政」はかえって市民の反発を買い、「逆差別」という批判を招きかねないため、改めるべきと考えるが、どうか。</p> <p>(1) 家族介護慰労事業について伺う。</p> <p>① 事業の目的について。</p> <p>② 高齢化の進行に伴い、家族介護が年々増加していることを考えると、事業の周知は重要である。これまでの市民への周知について。</p> <p>③ 事業の存在を知るすべがなかった該当する市民への遡及適用について。</p> <p>(2) 福祉事業や介護事業等の周知に関する市報やHPの活用の現状と課題認識について。</p>